

平成30年度 看護ハナマル先生による 模擬授業が行われました！

一般社団法人日本看護学教育学会は、看護学生さんからの推薦を受けて、平成30年度の看護ハナマル先生を選出しました。看護ハナマル先生には、横浜で開催された日本看護学教育学会第28回学術集会（平成30年8月29日）にて模擬授業を行っていただきました。



卒業生の朝日さんは、木村先生は学生のことを思って授業をしてくれたと、学生時代のエピソードを話してくださいました。



木村重利先生は、学生全員と対話し、急性期患者の報告内容を学ぶために伝言ゲームを取り入れるなど、学習者の学ぶ力を信じた授業を行っていただきました。



模擬授業の後、新井英靖先生（茨城大学教育学部）から、学生に視点をもって考えさせ、日常と専門用語の混融を図った素晴らしい授業と、講評いただきました。



木村重利先生には、佐藤紀子理事長（左側）から感謝状が送られました。

会場参加者からのアンケート結果

会場のみなさんからたくさんの意見・感想が寄せられました。
参加者数459名 アンケート回収数210枚 回収率45.8%

Q1 所属(n=210)			Q2 職位(n=210)								
区分	人数	%	区分	人数	%	区分	人数	%	区分	人数	%
大学	47	22%	教授	11	5%	副校長	10	5%	師長	2	1%
短期大学	6	3%	准教授	10	5%	教務主任	15	7%	主任	5	2%
専門学校	133	63%	講師	16	8%	実習調整者	6	3%	実習指導者	8	4%
病院・施設	20	10%	助教	11	5%	専任教員	93	44%	スタッフナース	8	4%
その他	4	2%	助手	6	3%	実習指導教員	2	1%	その他	7	3%

Q3 参加者の臨床経験年数 12.8年 最大37年 最小0年

Q4 参加者の教員経験年数 10.4年 最大50年 最小0年

Q5 看護ハナマル先生模擬授業に参加した理由は何ですか？（自由記述・重複回答あり）

分類	サブ分類	具体的な記載内容
企画やタイトルに興味がある	企画に興味があ(9)	・以前もこの企画に参加したことがあり、興味があった
	タイトルに惹かれる(6)	・演題にひかれて参加しました
今後の授業に役立つ	自分の授業の参考にする(71)	・自分の授業に活用できるエッセンスをもらいたい ・毎回参考になるポイントが沢山ある
	今後の授業改善に活かす(21)	・自分の授業づくりを振り返り、新しい方法を取り入れたいと思い参加しました
	授業の工夫が学びたい(6)	・分かりやすい授業をどのような工夫されているのか知りたかった
学生にとってより良い授業がしたい	学生の立場に立って授業がしたい(9)	・学生がわかる授業・・・と考えたとき、どうしたら良いか考えるためにさらに一歩を学びたい
	学生の興味のもてる授業がしたい(9)	・学生の心をつかむ授業とはどのような授業であるのか関心があった
他の教員の授業に興味がある	他の教員の授業方法を知りたい(13)	・他の先生がどのように授業されているのか知り、学びたい
	他の教員の授業に興味がある(11)	・他学校の先生がどのような授業をしているのか聞いてみたかった
教育方法として参考にする	現任教育の指導時に参考にする(4)	・臨床においてスタッフ指導のひとつで講義をしたり、看護実践での指導にあたり「教え方」について学びたい
	実習指導の参考にする(3)	・実習の主役である看護学生達がどのような教育を受けているのかを知り理解をすすめたい
その他	教育の専門家のコメントが聞きたい(2)	・ハナマル先生の生の授業を教育研究者からのコメントでよくわかります
	授業の悩みや行き詰まりがある(4)	・授業づくりに悩んでいまして・・・授業をデザインをすることの難しさを感じている
	講義を受けることで初心に帰る(2)	・講義を受けることで初心を考える
	他者から参考になると薦められた(6)	・昨年とても勉強になったと同僚から教えてもらいました

【今後、取り上げてほしいテーマ】

- ・カリキュラム
- ・フィジカルアセスメント
- ・看護過程
- ・アクティブラーニング
- ・学校経営
- ・学生が主体的に学ぶ授業設計

会場参加者からのアンケート結果

会場のみなさんからたくさんの意見・感想が寄せられました。
参加者数459名 アンケート回収数210枚 回収率45.8%

Q6 役立った点, 感想 (自由記述・重複回答あり)

分類	サブ分類	記載内容(役立った点・感想)
学生主体の学びの強化	学生主体の学び(2)	・学生主体であること、意識づけ
	学生の心にひびくアプローチ(4)	・同じ内容も伝え方ひとつで心に残るかどうかは違ってくる
学生への発問の仕方	答えを引き出す発問の仕方(2)	・学生から答えを引き出すこと
	発問時の学生に対する配慮(3)	・学生の言ったことを否定せず、なぜ、そのように考えたのか発問する
教員が哲学を持つこと	教員の理念や看護に対する考えを伝える(6)	・授業の基になる「理念」を大事にしている
	教員と学生の関係性を大切に学び合う(5)	・教員の役割を常に学生が意識するように共に学び合うスタンスでいる
自己体験の教材化	知識と生活を結びつけた教育方法(5)	・生活からアセスメントにつなげていくことで理解が深まる
	実践に近い事例設定の工夫(8)	・実習で学んだ患者さんは記憶に残るし、実践に近い事例設定がとてもいい
授業設計の工夫	学生を引き込む導入(伝言ゲーム)(28)	・導入にあたり緊張感と集中力を持たせる伝言ゲームは参考になった
	効果的な授業展開方法(14)	・何が重要なのか理解していくプロセスが参考になった
授業方法の工夫	学生の主体的な参加の工夫(14)	・必ず復習を取り入れていくこと、学生が主役であることを意識していくこと
	学生との対話による授業運営(7)	・学生との対話、一人一人の可能性を信じる
	学生にわかりやすく伝えるツール(17)	・準備・本時の学習内容・次にどう進むのがとてもわかりやく伝えられている
	ディープアクティブラーニングの理解(6)	・自身の授業をディープラーニングにするために何が必要か考えることができた
学習者を尊重する教育の本質	学習者を尊重する姿勢(19)	・先生の温かく学生を育てたいという思いが伝わって改めて教員の役割の大きさを実感した
	教育者としての熱意(10)	・教員としての情熱が伝わり、気持ちが浄化されて明日からがんばろうと思える



たくさんの方に参加していただきました。

日本看護学教育学会では、次年度も引き続き看護ハナマル先生を募集します。看護学生のみなさんからの推薦をお待ちしております。

一般社団法人 日本看護学教育学会 教育活動委員会
委員長 前田ひとみ
委員一同